

様式第17号(第12条関係)

少量危険物 貯蔵
 の 廃止届出書
 指定可燃物 取扱い

年 月 日				
(宛先)さいたま市消防長				
住所 届出者 (電話番号) 氏名				
貯蔵又は取扱い の場所	所在地			
	名称			
類・品名及び最大数量	類	品名	最大貯蔵数量	1日最大取扱数量
貯蔵又は取扱い方法の 概要				
貯蔵又は取扱い場所の 位置・構造及び設備の 概要				
消防用設備等又は特殊 消防用設備等の概要				
廃止年月日	年 月 日			
廃止理由				
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄	

備考

- 届出者が法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- ※印の欄は、記入しないこと。

① 少量危険物 貯 蔵
の 廃止届出書
~~指定可燃物~~ 取扱い

② 令和〇〇年〇月〇〇日				
③ (あて先)さいたま市消防長				
住 所さいたま市浦和区常盤6丁目1番28号				
④ 届出者 (電話番号048-833-7543)				
氏 名 危険物株式会社				
代表取締役 さいたま 太郎				
貯蔵又は取扱い の 場 所	所在地	⑤ さいたま市浦和区常盤6丁目1番28号		
	名 称	⑥ 危険物株式会社		
類・品名及び最大数量	類	品 名	最大貯蔵数量	1 日最大取扱数量
	⑦ 第 四類	⑧ 第二石油類 (灯油)	⑧ 900リットル	⑨ 50リットル
貯蔵又は取扱い方法の 概 要	⑩ 屋外貯蔵・取扱所 ドラム缶で貯蔵し、ウイングポンプにより容器への詰め替えを行う。			
貯蔵又は取扱い場所の 位置・構造及び設備の 概要	⑪ 記入要領による。 詳細にあつては、別紙のとおり。			
消防用設備等又は特殊 消防用設備等の概要	⑫ 記入要領による。			
廃 止 年 月 日	⑬ 令和〇〇年〇〇月〇〇日			
廃 止 理 由	⑭ 業務縮小のため(柵は撤去し、ためます等は埋め戻す)			
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄		

備考

- 届出者が法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- ※印の欄は、記入しないこと。

少量危険物の貯蔵及び取扱い廃止届出書の記入要領

① 届出区分

届出に係る区分以外を二重線で抹消します。

② 届出日

届出書を提出した日を記入します。

③ あて先

「さいたま市消防長」と記入します。

④ 届出者

少量危険物を貯蔵し、又は取り扱う者の住所、氏名を記入します。届出者が法人の場合は、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入します。

⑤ 貯蔵又は取扱い場所

貯蔵又は取扱い場所の所在地を記入します。

⑥ 貯蔵又は取扱い場所の名称

貯蔵又は取扱い場所の所有者等が個人の場合は氏名を、法人の場合は事業所の名称を記入します。

⑦ 類・品名（指定数量）

届出している危険物の類・品名を記入します。

⑧ 最大貯蔵数量

届出している少量危険物の最大数量を記入します。

⑨ 1日最大取扱数量

届出している少量危険物の1日のうちで取り扱う、最大となる数量を記入します。

⑩ 貯蔵又は取扱い方法の概要

屋内貯蔵・取扱所、屋外貯蔵・取扱所、屋内タンク、屋外タンク、地下タンク、移動タンク（ミニローリー）の施設区分と貯蔵・取扱い方法の概要を記入します。書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙に記入してください。

- 【例】・ドラム缶で貯蔵し、ウイングポンプにより容器への詰め替えを行う。
・屋内タンクから温熱ボイラーへ燃料を供給する。

⑪ 貯蔵又は取扱い場所の位置、構造及び設備の概要

貯蔵又は取扱い場所の概要を記入します。場所の位置、構造等を図で表す場合は「別紙のとおり」とし、別紙に施設図書等を添付してください。

【例】（屋外の場合）敷地南側隅、コンクリート地盤、排水溝及び油水分離装置を設け、境界を明示する。

（屋内の場合）本館3階建て建築物の1階北側ボイラー室内、ボイラーOKcal/hの設備を設け、ボイラー室の構造（壁、はり、床及び2階の床）は耐火構造。床面は浸透防止としコンクリート構造。

⑫ 消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要

消防用設備等の種類と設置数を記入します。

- 【例】・粉末消火器（10型） 2本
・泡消火設備

⑬ 廃止年月日

廃止した年月日を記入します。

⑭ 廃止理由

廃止に至った理由及び方法を記入します。

- 【例】（タンクの場合）敷地移転のため（タンクは水を入れ、掘り起こす）
（屋外の場合）業務縮小のため（柵は撤去し、ためます等は埋め戻す）